

■ 掲示板

■ 公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会
西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞候補者募集要綱

1. 趣旨：高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、特に優れた業績をおさめた研究者・技術者に西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞を授与し、もって加速器科学の発展に資することを目的とする。

2. 対象となる候補者：

西川賞：高エネルギー加速器ならびに加速器利用に関する実験装置の研究において、独創性に優れ、かつ論文発表され、国際的にも評価の高い業績をあげた、原則として50才以下（応募締切時）の単数または複数の研究者・技術者

小柴賞：素粒子研究のための粒子検出装置の開発研究において、独創性に優れ、国際的にも評価の高い業績を上げた、原則として50才以下（応募締切時）の単数または複数の研究者・技術者

諏訪賞：高エネルギー加速器科学の発展上、長期にわたる貢献など特に顕著な業績があったと認められる研究者・技術者・研究グループ

熊谷賞：研究開発、施設建設など長年の活動を通じて、高エネルギー加速器や加速器装置への顕著な貢献が認められる企業の加速器関係者

3. 年間表彰件数：各賞合わせて5件以内

4. 賞の内容：賞金は各賞30万円とする。表彰盾は課題毎に授与する。

5. 選考方法：推薦のあった者について公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会選考委員会で選考し、理事会において決定する。

6. 選考：平成25年11月上旬

7. 提出書類：(1)推薦書（当公益財団法人のホームページに掲載の様式による）

(2)選考資料 研究業績に関する発表論文（3編以内）のコピー（各2部）

8. 提出期限：平成25年10月10日（木）

9. 書類の提出ならびに問合せ先：

公益財団法人 高エネルギー加速器科学研究奨励会

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構内

TEL・FAX：029-879-0471 Eメール：info@heas.jp

ホームページ：http://www.heas.jp/

■ 独産業技術総合研究所計測標準研究部門量子放射科学研究職員公募

下記により研究職員の公募を行いますので、希望者への周知または適任者の推薦をお願い致します。

1. 研究部門名及び公募人員数：計測標準研究部門量子放射科
博士型任期付研究員または中堅型研究員 1名

2. 公募概要：医療や製品の非破壊検査、環境放射線計測などで

多用されている放射線・放射能・中性子の高精度計測技術と標準器の開発を行います。そのために、応用物理、電気工学などの知識と技術を持ち、特に放射線、放射能、中性子に関する研究開発に意欲的に取り組む若手研究者、または十分な実績を有する研究者を広く募集します。

3. 任期：①博士型任期付研究員：5年

②中堅型研究員：任期の定めなし（定年制）

4. 着任時期：平成26年4月1日

5. 応募資格：

①博士型任期付研究員：

(1)平成18年4月2日以降に博士の学位を取得した者（採用予定日において学位取得見込者を含む）

(2)博士号取得と同等の能力を有する者

②中堅型研究員：

(1)研究グループの核となって研究成果の社会への展開（還元）を中長期的に実践していくことができる研究人材

(2)博士の学位を有する者、ポスドク経験者又はそれらに相当する研究能力・研究実績を有する者

6. 応募締切：

一次締切（複数の公募課題へ応募する場合）：2013年10月11日金曜日

二次締切（一つの公募課題へ応募する場合）：2013年10月25日金曜日

7. 提出書類：産総研公式 HP で事前登録を行ったうえで、以下の書類を原本1部、コピー1部ご提出ください。（一部の書類は様式が指定されています。公式 HP で入手してください。）

A. 提出書類チェック表（指定様式）

B. 履歴票（指定様式）

C. 研究業績リスト（指定様式）

D. 修士論文の要約、及び博士論文の要約（各A4紙1ページ程度、図入り可）

E. 研究業績2～3点

F. 「E. 研究業績2～3点」の要約（1点あたりA4紙1ページ程度、図入り可）

G. これまでの研究概要（A4紙1ページ程度、図入り可）

H. 今後の抱負（A4紙1ページ程度、図入り可）

I. 産総研関係者以外の者（大学の指導教官等、英文も可）からの推薦状1通以上

8. 書類提出先：

※「公募選考採用応募書類在中」及び「公募番号（各研究分野の募集概要に記載されている番号）」を必ず朱書きし、郵送又は宅配等により送付してください。

〒305-8568 茨城県つくば市梅園 1-1-1

つくば中央第2事業所 つくば本部・情報棟 7F

独立行政法人産業技術総合研究所 研究職員採用委員会事務局

9. 本件に関する問合せ先：

量子放射科 齋藤則生

E-mail : nmij2013saiyo-ml@aist.go.jp

Tel : 029-861-5656

10. その他：詳細は、産業技術総合研究所 計測・計量標準分野の研究職員募集の公式ホームページ

http://www.aist.go.jp/aist_j/humanres/02kenkyu/task/6_standards.html#koumoku4

〈公募番号〉計測標準-11A/Bをご覧ください。

■群馬大学教育学部テニュアトラック教員 (SC 講師) の公募

1. 募集人員：テニュアトラック教員 (Science Climber (SC) 講師) 1 名

2. 所属：群馬大学教育学部理科教育講座

3. 専門分野：実験物理学分野 (特に、電子分光学的な手法を主に用いた物性実験)

4. 応募資格：博士の学位を有し、2014年4月1日の時点で、研究に従事している期間が博士の学位取得後10年以内又は同等程度の研究経歴を有する40歳未満の研究者

5. 着任時期：2014年4月1日

6. 任期：5年 (テニュア審査で適格と認められた場合、任期なしの専任教員として採用)

7. 応募締切：2013年11月5日

8. その他：公募の詳細については下記のページを参照してください。

<http://www.edu.gunma-u.ac.jp/kobo/index.html>

■平成26年度前期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

1. 募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

2. 応募期限：平成25年11月中旬予定

3. 応募要領：

実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。

申請受付は平成25年10月上旬からの予定です。

具体的な申請書作成等に関する詳細については

<http://uskek.kek.jp/apply/pf.html> を参照ください。

4. その他：研究成果は公表していただきます。

PF を高度に活用した優れた研究を主体的に推進する大学院生を、大学と PF が共同して指導、支援を行い、放射光科学の将来を担う人材の育成を行うことを目的とした課題区分が新設されました。詳細は、PF ホームページ等を参照ください。

5. 問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

e-mail : kyodo1@mail.kek.jp

Tel : 029-864-5126

■北海道大学電子科学研究所助教公募要領

北海道大学電子科学研究所において、下記のとおり助教を公募いたします。

1. 所属研究部門及び公募人員：光科学研究部門 コヒーレント光研究分野 助教1名

2. 研究分野の内容：

本研究分野では、放射光や X 線自由電子レーザーなどの先端のコヒーレント短波長光源を利用した顕微鏡・イメージングに関して、手法・装置開発から応用にいたる研究に取り組んでいます。例えば、蓄積リングのアンジュレーター放射光を利用した細胞小器官のイメージングや、X 線自由電子レーザーを用いた溶液試料のイメージングなどを研究テーマとしています。

これまでの研究分野は特に問いませんが、物理学や情報科学の素養を持つ方が望ましいです。これら研究に興味があり、意欲的に取り組んでいただける方を希望します。

3. 担当授業・大学院との関係：大学院情報科学研究科生命人間情報科学専攻の大学院教育を担当予定である。

4. 資格：博士の学位を有するか、取得見込みの方。

5. 公募×切：平成25年12月10日(火)必着。(封筒に「応募書類在中」と朱記し、書留で郵送すること)

6. 着任時期：採用決定後、できるだけ早い時期。

7. 任期：なし。

8. 提出書類：

1. 履歴書 (写真添付)

業績リスト (原著論文、総説及び解説論文、著書、国際及び国内学会における講演、特許及び工業所有権、等に種別すること)

2. 主要論文の別刷り5編以内 (各1部)

3. これまでの研究の概要 (A4判2枚以内)

4. 研究計画 (A4判2枚以内)

5. 研究助成金取得状況 (科学研究費補助金、他省庁及び民間も含め、それぞれの種目、タイトル、代表、分担の区別、をつけること)

6. 参考意見を求めることができる方 (2名) の氏名及び連絡先

9. 書類送付先：

〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目

北海道大学 電子科学研究所 西野吉則宛

10. 応募書類の送付先：

北海道大学 電子科学研究所 西野吉則

電話：011(706)9354 (直通)、

E-mail : yoshinori.nishino@es.hokudai.ac.jp

<http://cxo-www.es.hokudai.ac.jp/>

■ドイツ・イノベーション・アワード「ゴットフリード・ワグネル賞2014」概要

1. 応募資格：日本の大学・研究機関に所属する45歳以下の若手研究者 (応募締切日時点)

2. 応募対象：

(1)環境・エネルギー、健康・医療、安全のいずれかの分野における応用志向型の研究

(2)下記の産業分野において、ソリューションを提示する研究：自動車・輸送機器、化学品・素材、エレクトロニクス・フォトリソ、医療機器・診断技術、バイオテクノロジー・医薬品、ものづ

くり・製造プロセス・機械, エネルギー開発と供給技術(新エネルギーを含む)

(3)現在進行中の研究, または過去2年以内に完了した研究成果

3. 賞金:最優秀賞(1件)400万円, 優秀賞(1件)200万円, 秀賞(3件)100万円

4. 副賞:ドイツの大学・研究機関に最長2カ月間研究滞在するための助成金

5. 審査方法:本賞の共催企業の技術専門家による予備審査の後, 常任委員と専門委員から構成される選考委員会において受賞者を決定します。

6. 応募方法:電子申請システムで受け付けます。詳細は, ドイツ・イノベーション・アワードのホームページをご覧ください。
www.german-innovation-award.jp

7. 募集期間:2013年10月1日(火)~12月8日(日)必着

8. 主催:ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京, 在日ドイツ商工会議所

9. 共催: BASF ジャパン株式会社, バイエル, ポッシュ株式会社, コンティネンタル・オートモーティブ株式会社, エボニック ジャパン株式会社, ヘンケルジャパン株式会社, メルセデス・ベンツ日本株式会社, メルク株式会社, ショット日本株式会社, シーメンス・ジャパン株式会社, トルンプ株式会社(アルファベット順)

10. 特別協力:ドイツ学術交流会, ドイツ研究振興協会

11. 協力:フラウンホーファー研究機構, ドイツ語圏日本学術振興会研究者同窓会

12. 後援:ドイツ外務省, ドイツ連邦教育研究大臣, 独立行政法人 科学技術振興機構, 独立行政法人 日本学術振興会

13. 問合せ先:ドイツ・イノベーション・アワード事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4 三番町 KS ビル5F
TEL:03-5276-8827

E-mail: info@german-innovation-award.jp

■会告

■日本放射光学会第99回評議員会議事録

日時:2013年7月20日(土) 14:00~16:00

場所:関西学院大学 東京丸の内キャンパス 大会議室

出席者:足立伸一, 雨宮健太, 雨宮慶幸, 太田俊明, 岡島敏浩, 柿崎明人, 鎌田雅夫, 河田 洋, 木下豊彦, 木村昭夫, 木村 滋, 木村真一, 小杉信博, 坂田 誠, 谷口雅樹, 野村昌治, 初井宇記, 水木純一郎(会長), 村上洋一, 百生 敦, 渡邊信久
木村洋昭(庶務幹事), 松田 巖(行事幹事)

欠席者:石川哲也, 尾嶋正治, 北村英男, 籠島 靖, 繁政英治, 辛 埴, 田中 均, 唯美津木(会計幹事), 玉作賢治(編集幹事), 松原英一郎(渉外幹事) 山本雅貴, 横山利彦

事務局:佐藤亜己奈(WORDS), 西野三和子(WORDS)

〈審議事項〉

1. 学会の法人格取得に関して

学会の法人格取得に関して, 学会の監査をお願いしている税理士事務所に質問を行ったところ, 「貴会の場合, 課税されるとすれば印刷業, 出版業になるかと思われるが, 今日までの間, 事業規模でこれらの業務を行っているとは思えないので申告はしていない。」との回答があった。突然脱税行為を行っている指摘されることは考えられないため, 法人格取得は当面見送ることとした。

2. 学会誌バックナンバーの保存に関して

過去10年分くらいの学会誌バックナンバーが各号50~100冊弱残っており, 事務局倉庫での保管が難しくなってきたため, 過去3年分は30部, それ以前のは10部程度残して処分することが提案された。学会メーリングリストで引き取りたい人がいないか確認をした上で処分することを承諾した。

3. 会員異動

木村庶務幹事より, 第98回評議員会以降の入退会申請者に

関して, 入会:正会員20名(うち学生会員10名), シニア会員2名, 賛助会員1社1口, 特別賛助会員1団体1口の報告があり, これを承認した。退会に関して, 退会:正会員20名(うち学生会員5名)を確認した。2013年7月20日現在の総会員数は1,297名(うち学生会員115名), 名誉会員5名, シニア会員16名, 賛助会員42社(44口), 特別賛助会員8団体(9口)。

4. 協賛・後援等について

本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり, 協賛11件, 後援2件, 共催1件を承認した。

〈報告事項〉

1. 次期会長・評議員選挙結果

木村庶務幹事より, 次期会長・評議員選挙の結果について報告があった。次期会長および改選評議員(15名)は下記の通り決定した。

次期会長:村上洋一

新評議員:朝倉清高, 足立純一, 大橋治彦, 加藤政博, 組頭広志, 佐々木聡, 大門 寛, 高田昌樹, 竹田美和, 中井泉, 原田慈久, 藤森 淳, 松田 巖, 矢橋牧名, 山田和芳尚, 評議員会後に朝倉清高氏より評議員辞退の申し出があり, 代わりに次点の中尾裕則氏を評議員に決定した。

2. 放射光光源将来計画討論会報告

水木会長より6月1日に行われた放射光光源将来計画討論会について報告があった。討議内容については学会ホームページおよび学会誌に掲載をする。

3. 功労報賞に関して

木村庶務幹事より功労賞という名前でこれまで議論してきたが, 幹事会の考えとしてこの賞は感謝状の意味合いが強く, それを表すために“功労報賞”という名前に変更したとの説明があった。以下の内容で評議員にメール審議を行い承認されたことが報告された。

日本放射光学会功労報賞内規

1. 日本放射光学会が規定する学術賞等の一つとして、日本放射光学会功労報賞を設ける。
2. この報賞は、放射光利用技術・支援の永年に渡る功に報いて授与するものである。
3. 受賞対象者は必ずしも学会員である必要はない。
4. 選考は以下の手続きによる。
 - 毎年9月末を締切とする。
 - 学会員10名以上の賛同者をもって代表する学会会員から幹事会に推薦する。
 - 幹事会で選定し、会長が評議員会で承認を得た後、総会で報告する。
5. 表彰は、日本放射光学会年会において行う。

また、今後以下の文面とともに募集を行う。

「この報賞は、放射光利用研究に対して技術あるいは支援業務を通じて永年に渡り功績のあった方に感謝状の意味合いで授与するものです。若干名を考えています。」

4. AOFSSRR2013について
2013年9月21日-24日にイーグレ姫路で開催されるAOFSSRR2013の準備状況について報告があった。Asia Oceania Week という事で、Cheiron School2013 (9月24日-10月3日)と一緒に開催される。
5. ケイロンスクールの学会推薦について
ケイロンスクール事務局から、放射光学会推薦枠として最大8人の推薦依頼があった。JSR11-13の学生発表賞受賞者および学会員全体に募集をかけたところ、JSR11-13の学生発表賞受賞者4名から応募があり、旅費・宿泊費のサポートが受けられる特別推薦者として推薦をしたとの報告があった。尚、今後は年会・合同シンポの学生発表賞に関する案内に、受賞者はこういったサポートを優先的に受けられる可能性がある旨を記載することとした。
6. JSR14の準備状況
松田行事幹事より2014年1月11日(土)-13日(月)に広島国際会議場で開催される第27回・年会・合同シンポ(JSR14)の準備状況について報告があった。
7. 第5回放射光基礎講習会準備状況
松田行事幹事より2013年8月2日-3日に東京大学工学部5号館52号講義室で開催される第5回放射光基礎講習会「よくわかる放射光科学講座」の準備状況について報告があった。
8. 第5回若手研究会準備状況
松田行事幹事より2013年9月10日-11日に東京大学柏キャンパス物性研究所6階大講義室で開催される第5回若手研究会「パルス特性を用いた次世代物質科学研究の最前線」の準備状況について報告があった。
9. 編集委員会報告
現在の査読制度について、査読する編集委員の負担が大きいといった問題があり、査読は編集委員が指名する学会会員に依頼する等の案を検討しているとの説明があった。これについて、学会会員全体ではなく、過去の編集委員等、ある程度候補を決めておいたほうがいいのではないかとの意見があった。

10. 第18回学会奨励賞応募状況

木村庶務幹事より第18回学会奨励賞の応募状況について報告があった。

■会員異動

第99回評議員会(2013年7月20日)で承認

《正会員入会》

- | | |
|-------|--|
| 濱 広幸 | 東北大学, 電子光物理学研究センター, 加速器・ビーム物理研究室 |
| 水口 将輝 | 東北大学 金属材料研究所 |
| 吉田 友幸 | 株式会社 豊田中央研究所 半導体材料基盤研究室 |
| 千田 俊哉 | 高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・放射光科学研究施設・構造生物学研究センター |
| 本多 定男 | 公益財団法人高輝度光科学研究センター利用研究促進部門ナノ・フォレンジック・サイエンスグループ |
| 早乙女光一 | (公財)高輝度光科学研究センター |
| 笠井 秀隆 | 理化学研究所 放射光科学総合研究センター 高田構造科学研究室 |
| 笹部 崇 | 名古屋大学大学院理学研究科 物質理学専攻(化学系) |
| 光原 圭 | 立命館大学総合科学技術研究機構 |
| 山口 浩司 | 住友電気工業㈱解析技術研究センター |

以上10名

《学生会員入会》

- | | |
|-------|---|
| 津山 智之 | 東京大学 工学系研究科 物理工学専攻 和達研究室 |
| 横 哲 | 東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境システム学専攻 大島研究室 |
| 石川 駿 | 広島大学大学院理学研究科化学専攻構造物理科学研究室 |
| 永尾 有希 | 熊本大学大学院 自然科学研究科 産業創造工学専攻 物質生命化学講座 町田研究室 |
| 山下 翔平 | 立命館大学大学院 生命科学研究科 無機触媒化学研究室 |
| 宮原 良太 | 立命館大学大学院 生命科学研究科 無機触媒化学研究室 |
| 池田 潔彦 | 立命館大学大学院 生命科学研究科 無機触媒化学研究室 |
| 山下恵太郎 | 北海道大学大学院生命科学院 X線構造生物学研究室 |
| 田路 智也 | 東京理科大学 理学研究科応用物理学専攻 齋藤研究室 |
| 志村 眞弘 | 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻 佐々木研究室 |

以上10名

《シニア会員入会》

- | | |
|-------|-----------|
| 原田 仁平 | 名古屋大学名誉教授 |
|-------|-----------|

中前 勝彦

以上 2 名

《退会会員》

正会員15名, 学生会員 5 名

《賛助会員入会》

東芝電子管デバイス株式会社 (1 口)

以上 1 社 1 口

《会員数》

会員1297名 (内学生115名) 名誉会員 5 名 シニア会員16名
賛助会員42社 (44口) 特別賛助会員 8 団体 (9 口)

《特別賛助会員入会》

独立行政法人日本原子力研究開発機構 (1 口)

以上 1 団体 1 口

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治

渉外幹事 松原英一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr265

Password : 7Rn9bwoG

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、松原 (matsubara.eiichiro.6z@kyoto-u.ac.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2013年 10/16-17	第56回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	大阪大学コンベンションセンター	公益社団法人 日本表面科学会 E-mail: shomu@sssj.org	26・4
10/18	第78回表面科学研究会「ナノスケールの振動分光の最前線」	東京工業大学 西8号館10階 大会議室	公益社団法人 日本表面科学会 E-mail: kiguti@chem.titech.ac.jp	26・5
11/6-8	第43回結晶成長国内会議 (NCCG-43)	長野市生涯学習センター (TOiGO 内)	日本結晶成長学会 E-mail: jacg@words-smile.com	26・5
11/14-16	第54回高压討論会	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター	日本高圧力学会 E-mail: touronkai54@highpressure.jp	26・3
11/17	X線ナノ集光技術研究会2013	大阪大学中之島センター	X線ナノ集光技術研究会	26・5
11/22	日本表面科学会関西支部主催 実用表面分析セミナー2013	神戸大学 百年記念館 六甲ホール	日本表面科学会関西支部 E-mail: Masazumi_Iwataya@ktr.grp.kaneka.co.jp	26・5
11/26-28	2013年真空・表面科学合同講演会 第33回表面科学学術講演会・第54回真空に関する連合講演会	つくば国際会議場	公益社団法人 日本表面科学会, 一般社団法人 日本真空学会 E-mail: taikai13@sssj.org	26・4
12/6	SPring-8 安全安心のための分析評価研究会 (第8回)～原発事故による環境汚染への取り組み～	研究社英語センタービル地下2階大会議室 (研究会), 地下1階 中会議室 (技術交流会)	SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会 E-mail: suishin@spring8.or.jp	26・5

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■第78回表面科学研究会「ナノスケールの振動分光の最前線」

TEL/FAX : 03-5734-2071
E-mail : kiguti@chem.titech.ac.jp

主 催 : 日本表面科学会

協 賛 : 日本放射光学会, 他

日 時 : 2013年10月18日(金) 13:00-17:00

場 所 : 東京工業大学 西8号館10階 大会議室
(〒152-8551 目黒区大岡山2-12-1)

参加費 (テキスト代, 消費税含む, 当日会場にて受付) :
会員 (協賛学協会等構成員含む) 2000円, 学生1000円, 一般4000円

参加定員 : 60名

申込方法 :

ウェブサイト (<http://www.sssj.org>) から, もしくは e-mail, はがき, または FAX に次の項目を記入し, 下記の日本表面科学会事務局宛お申し込みください。

氏名(ふりがな), 連絡先(住所, 電話番号, メールアドレス), 参加区分 (会員 (協賛学協会等構成員含む), 学生, 一般)

申込締切 : 2013年10月11日(金)

問合せ先 :

東京工業大学理工学研究科 木口 学

■第43回結晶成長国内会議 (NCCG-43)

主 催 : 日本結晶成長学会

協 賛 : 日本放射光学会, 他

日 時 : 2013年11月6日(水)～8日(金)

場 所 : 長野市生涯学習センター (TOiGO 内)
(〒380-0834 長野県長野市鶴賀問御所町1271番地3)

参加費 :

事前登録/正会員5,000円, 学生会員2,000円, 一般15,000円,
学生非会員8,000円

当日登録/正会員6,000円, 学生会員3,000円, 一般16,000円,
学生非会員9,000円

予稿集 : 4,000円 ※参加者には無料配布いたします。

懇親会参加費 : 一般5,000円, 学生2,000円 (別途徴収)

詳細 HP :

http://www.jacg.jp/jacg/japanese/frame_main/18/nccg-43/index2013.html

連絡先：

日本結晶成長学会事務局
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8-507
TEL：03-5950-4741 FAX：03-5950-1292
E-mail：jacg@words-smile.com

■X線ナノ集光技術研究会2013

「それまで見えなかったもの」が見えるようになるには、科学的なブレイクスルー・新規提案といった切っ掛けが必要である。近年、X線光学素子やシステムの高度化・進歩、新規イメージング法の登場によって、様々な物理量の画像化が提案・実用化されている。これらは従来の2D 或いは3D イメージング法に新たな+n次元の追加オプション、つまり様々な多次元イメージングを可能にし、「これまで見えなかったもの」を可視化する為の大きい手助けとして期待される。XFEL といった新しい光源の登場により、益々その進展は加速されるだろう。本会議は、ブレイクスルーが期待される新たなテーマの中で特に、若手研究者が中心となって取り組む話題をピックアップし、成果よりも寧ろ現在の問題点、将来への展望・問題提起に重点を置き、忌憚ない議論の場とすることを目的とする。

主 催：X線ナノ集光技術研究会
日 時：2013年11月17日(日)
場 所：大阪大学中之島センター (大阪市)
参加費：無料
定 員：先着100名
詳 細：<http://www-bl20.spring8.or.jp/nft3/>

■日本表面科学会関西支部主催 実用表面分析セミナー 2013

表面分析の実務者やより進んだ表面分析を模索しておられる方を対象。表面分析の解析技術のノウハウやヒント、最新の分析技術の紹介。

主 催：日本表面科学会関西支部
日 時：2013年11月22日(金) 10：30-17：30
場 所：神戸大学 百年記念館六甲ホール (神戸市灘区)
参加費：
無料 (但し、テキスト代は表面科学基礎講座受講者および表面科学会会員には無料配布、その他一般の方で希望される方は2,000円、学生1,000円)
申込 & ホームページ：
http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou16.html
問合せ先：
〒566-0072 大阪府摂津市鳥飼西 5-1-1

㈱カネカテクノロジー分析部大阪分析センター
岩田谷正純
E-mail：Masazumi_Iwataya@ktr.grp.kaneka.co.jp
Tel 072-653-8301

**■SPring-8 安全安心のための分析評価研究会 (第8回)
～原発事故による環境汚染への取り組み～**

東日本大震災と原発事故という未曾有の問題に直面し、多くの科学者がそれぞれの専門分野で問題の解決に寄与すべく努力しています。SPring-8 利用研究者も例外ではなく、これまでに様々な成果が得られています。今回の研究会では、その一部を紹介し、また科学技術の現状解析に関して、および放射光利用以外の農業環境研究成果に関してもとりあげ、現状と今後の課題解決へのステップを確認したいと思います。

主 催：SPring-8 利用推進協議会 研究開発委員会
共 催：(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI)、東京理科大学・RIST・グリーン & セーフティ研究センター
協 賛：日本放射光学会、他
日 時：2013年12月6日(金)
場 所：研究社英語センタービル地下2階大会議室 (研究会)、
地下1階中会議室 (技術交流会)
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 1-2

参加費：無料
定 員：80名程度
研究会 HP：
http://www.spring8.or.jp/ext/ja/iuss/htm/text/13file/safety_security_anal_eval/8th/index.html

申込方法：
下記申し込みページよりお申し込みください。
https://support.spring8.or.jp/event/anzen_131206_form.html
E-mail または FAX でお申し込みの際は、以下の必要事項をご記入のうえ、下記申し込み先アドレスへお送りください。
なおその際は、件名：『安全安心のための分析評価研究会』を明記してください。
(1)氏名 (カナ)、(2)所属機関名、(3)所属部署名 (学科)、(4)職名 (学年)、(5)郵便番号・住所、(6) e-mail、(7)電話番号、(8) FAX 番号、(9)交流会の参加の有無

問合せ先：
(公財)高輝度光科学研究センター
研究調整部 SPring-8 利用推進協議会事務局
〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
TEL：0791-58-0924, FAX：0791-58-0830
E-mail：suishin@spring8.or.jp